

# 壹元参新聞



平成26年9月 第10号  
～発行～福生市立中央図書館



## オズマズマ 本コーナー

怪盗ルパン  
著者/モリス・ルブラン  
訳/榊原 晃三  
出版社/岩波書店 ほか

皆さんは「ルパン三世」を、一度はご覧になったことがあると思います。では、「ルパン」はどうでしょうか？  
「そういえば、読んだことないな...」と思った、そのあなた！今すぐお近くの図書館書店へすつとんで行って下さい。きっとあなたも、この上品で学問ゆたか、悪いやつらを狙い、秘密を暴いて財産をこっそり頂戴するが、貧しい人達や弱い人達は進んで助けようとする天才、アルセーヌ・ルパンに、すつかりハマってしまおう筈です。



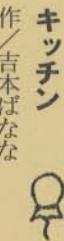
数学ガール  
著者/結城 浩  
出版社/ソフトバンククリエイティブ

この本を見て、「数学かあ」と嫌がった人もいると思いますが、内容は二人の少女と主人公が数式を解きながら関わっていく物語なんです。私も数学嫌いだったので嫌がりましたが、読み進めていくと、3人の存在が数学の難しさを和らげて、楽しく読めました。数学が嫌いな人も、好きな人も是非、読んでみてください。



ザ・万歩計  
作/万城目学  
出版社/産業編集センター

今回は「鴨川ホルモー」の作者、万城目学さんのエッセイ集を紹介したいと思います。この本には万城目さんの小説家になるきっかけの話からモンゴル旅行(?)、あの「黒い虫」との闘い等々一見別に必要のないのではと思える話も交えて、万城目さんの人生が書かれています。とにかく、飽きません。何回でも楽しく読み返せるのは万城目さんの文章の成せる技ですね。



キッチン  
作/吉本ばなな  
出版社/角川文庫 ほか

私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思ふ。唯一の肉親の祖母を亡くした桜井みかげ。祖母と仲の良かった雄一とその母の家に同居する事になる。何気ない二人の優しさにかげは、孤独な心を和ませていくのだが...  
読みやすい本なので、本が好きな人も、嫌いな人も読んでみてください。



仮想インタビュー  
物質が語る自画像  
作/リチャード・ハモンド  
訳/岡田好恵  
出版社/講談社ブルーバックス

この本は一風変わった対談本です。話す相手は炭素、電子、ブラックホール、中性子等自然界に存在する22の物質たち。彼らに仮想インタビューをして、彼らの性質や宇宙について語ってもらおう、そんな本です。それぞれの物質のキャラクターがしっかりして、とても読みやすく、理科に興味の無い人にもお勧めできます。



(C)角川書店

紹介された本は市内の図書館で所蔵しています。

図書館ホームページ  
<http://www.lib.fussa.tokyo.jp>

にも、オススメ本が掲載されています。チェックしてください！



銀の檻を溶かして  
―薬屋探偵妖綺談―  
著者/高里 椎奈  
出版社/講談社

とある街の一角に存在する『深山木薬店』。そのお店は、優しい青年と、澄んだ美貌の少年と、元氣な男の子の三人が営む薬種店。だが、極めて特殊な「探偵事務所」で...?  
深山木薬店に持ち込まれた、二つの事件。なんの共通点も無いようにみえた事件は、実は繋がっている...?  
暑さの残るこの季節、たくさん妖怪が出てくるこの本で涼しんでみてはいかがですか？

図書館のあの人にインタビュー  
今回は、わかぎり図書館の新居分館長にインタビューしました。  
※前回の中野さんの回は9回目です。訂正します。



イ「お名前をお願いします」  
新「新居陽子といいます」  
イ「趣味は何ですか？」  
新「趣味はねえ...最近はおマッサージュすること。後は、時間があれば溪流釣りとか。そうだね、昔は太極拳をやっていた」  
イ「好きなお花はなんですか？」  
新「花ねえ、んー、コスモス！」  
イ「何色がお好きですか？」  
新「ピンクのコスモス。自然に生えているのがいいな」  
イ「夏のおすすめスポットはありますか？」  
新「夏のおすすめスポットはありますか？」  
新「面白い(質問だ)ねえ、(笑)川とか溪流とか、具体的な場所だ...あつ！わかぎり図書館!!!」  
イ「わかぎり図書館では、どのようなお仕事をされているのですか？」  
新「えっとねー、一応この分館長で、地域会館の管理業務ということかな」  
イ「今食べたものは何ですか？」(笑)  
新「今食べたものは...冷ややっこ」  
イ「何をつけて食べたのですか？」  
新「かつお節にそばつゆと、生姜でツルリと食べた」  
イ「かき氷のシロップは何が好きですか？」  
新「水あずきがね、好きです」  
イ「おすすめの本はなんですか？」  
新「ちょうど今読んでるのは、森絵都の『ラン』。おもしろいです」  
イ「最後に利用者の方へ一言！」  
新「皆さんが来るのを待っています！中高生向けのおすすめ本をそろえていますので、一度ぜひ遊びに来てください」  
新居分館長、お忙しい中インタビューに答えてくださり、ありがとうございました★